

小倉の里たより

発行 小倉の里会 2009年4月 創刊号

ごあいさつ

小倉の里会 会長 川上 岳



小倉の里に別荘をお持ちの方、またお住まいの皆様、こんにちは！
しばらく活動を休止していましたが「小倉の里会」を、昨年、再開するにあたり、
会長になってしまいました川上でございます。

この度、「小倉の里たより」の創刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

ご存知の方も多いと思いますが、小倉の里は、長野県開発公社が開発・分譲した
別荘地ということで「県分譲」と言う方が分かりやすい別荘地でした。

小倉の里は、今年で40年を迎える軽井沢の中でも歴史ある別荘地であります。ま
た、一般の車が通り抜け出来ないところですので、“静かさ”や“安全・安心”が保
てる数少ない独立した別荘地であると言えます。

現在、軽井沢町観光協会を中心に軽井沢のまちづくりのビジョンとして「美しい村」（堀辰雄の著書から引用）
を提唱しています。「美しい」とは、自然や住民の心の美しさであり、「村」とは、お互いの肌の温もりを感じ
ることが出来る人間的スケールの町を意味しているそうです。

40年前にこの別荘地を「小倉の里」とネーミングした県開発公社は、森の中の里をイメージし、温もりのあ
る別荘地にしたいと考えていたかもしれませんね。

私は、その観点からこの「小倉の里」のビジョンを「美しい里」としてみてはいかがかと思えます。つまり、
自然との調和、温もりや親しみのある人づきあいなどを大切に、皆さんと「美しい里」となるよう協力し合っ
ていけば、何か問題が起きてもスムーズに解決できるのではと思います。そうすれば自然と美しい別荘地とな
り、皆様方の評価も高まってくるのではないのでしょうか。

開発がどんどん進んでいる軽井沢ですが、将来、軽井沢をどのような町にしたらよいか、このような環境の
中で小倉の里が「美しい里」であり続けるためにどうしたらよいかを皆さんと考えていけたらと思います。

<事務局たより>

◆小倉の里会役員会の活動再開について

2009年8月14日開催の「小倉の里交流・親睦会」には多くの皆様のご参加を頂き、ありがとうございました。
その時に選出されました小倉の里会再開準備委員8名により、9月13日再開準備委員会が開催され、会則の改訂、
役員を選任、事務局の選任など決議され、小倉の里会の活動が再開されました。

平成21年3月末現在、ご加入された会員は、隣接地を含め98戸です。

A地区	B地区	C地区	K地区	隣接地	合計(定住)
40 (3)	19 (2)	32 (7)	4 (2)	3 (3)	98 (17)

◆関係先へのご挨拶

小倉の里会再開に伴い、軽井沢町、警察等へ活動再開の報告をかねてご挨拶に行っていました。町へは、道
路等の補修をお願いしたところ、陥没している4箇所は応急処置をして頂きましたが、本格的な補修は、小倉の里
として毎年一定の範囲で実行していきたいとのことでした。また、警察では平成20年7月に起きた別荘不法侵入
事件以降、定期的に夜間巡回を実施しているとのことでした。

◆小倉の里隣接地の開発について

黒澤組が、当別荘地南側の A85 と B73 の間に入った右奥で、6 月末までの予定で別荘地 8 区画の開発を行っています。工事車両等の出入りがありますので、ご注意下さい。

◆別荘地入り口に街灯が点きました

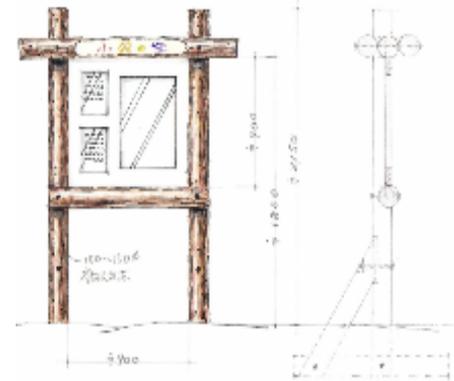
㊤信州・長野県観光協会から街灯 7 基を撤去したいとの申出があり、点灯していない街灯の取替えの上、当会への寄贈をお願いしたところ、町の既設街灯と隣接する 4 基は撤去、3 基は街灯を取替えて当会に寄贈して頂きました。4 月 1 日から点灯しています。メイン道路入り口および導入部分が明るくなりました。

小倉の里会の掲示板ができます

皆様との情報交流の一環として、掲示板を作りました。メイン道路入り口正面と、女街道入り口と 2ヶ所に設置いたします。

予算の関係上、黒澤組別荘開発地から伐採した木材を使ったり、元インテリアデザイナーである玉野上 (B18) さんに設計・製作を、川上 (A49) さん、木下 (C93) さんに製作のご協力を頂いた手作りです。

また、設置場所のご協力を戴きました佐藤 (K33) さんに感謝申し上げます。



Docomo のアンテナが設置されます

現在、Docomo の携帯は、屋内での通話状態があまり芳しくなく不便を感じている人も多いかと思えます。

この度、田続 (A94) さんのご協力により、田続さんの敷地内に Docomo のアンテナが設置されることになりました。

Docomo さんは夏までには稼働したいとのこと。多くの方が滞在される夏休みまでには、完成しているといいですね。

田続 (A94) さんに感謝申し上げます。

小倉の里 観察日記

4 月 10 日 (金) 晴れ (最低 2.2℃ 最高 23℃)

気温が朝からどんどん上昇。4 日ばかり留守にしていた間に小倉の里もすっかり春。早生のシロバナサクラソウの葉は、もう 3 ~ 5 cm の葉を地面から出している。今朝はまだ影も形も無かったサクラソウは、夕方には 1、2cm の芽を出していた！

庭のいたるところにウサギのフン、そばに直径が 4 分の 1 ほどの相似形のフンがあるに気がつく！赤ちゃんウサギか？

タネツケバナの群落に越年のクジャクチョウが来て休んでいた。紅いタテハチョウ、という印象。そっと近くによるとはっきり目の形の文様が見えて心が躍る。小学生の時に、見たこともないクジャクチョウを図鑑で見てオルゴールに彫刻して以来、いつか会いたいと思っていた！

いろいろな生き物が、健やかに成長し続ける「小倉の里」であってほしい。サクラソウも、野ウサギも、チョウたちも、私たちの大切な子どもや孫たちも…。

“セピア色の写真”ありませんか？

「小倉の里」も、誕生してから、はや 40 年。

8 月中旬の、「小倉の里会」総会終了後、この歴史を記念して、記念イベントを開きたいと思います。その一つとして、古い小倉の里の風景や、別荘生活の一コマを写した“セピア色の写真”を探しております。ぜひ、大切な思い出の写真をお借りしたいと思ひます。



あなたのアルバムに
“セピア色の写真”
ありませんか？

(↑ 1977 年 A-123 付近、北に浅間山が見える。)

ご連絡は、小倉の里会 事務局まで

電話・Fax 050-1220-3315

e-mail: oguranosato.kai@gmail.com

編集後記

創刊号をお届けします。春、秋の年 2 回の発刊予定です。「美しい里」小倉の里が発展していくことを信じて…。